ASTERIA Warp Core PoC事例

東京都港区六本木7-18-23
https://www.tv-asahi-service.co.jp/

株式会社テレビ朝日サービス

Core×BizRobo!でロボットを超高速化！処理時間を90%以上短縮

株式会社テレビ朝日サービスでは、数々の人気番組を放映するテレビ朝日を支える幅広い事業を展開している。

同社では、事業拡大と共に生じる人手不足問題を解決すべく、RPAツール「BizRobo!」を利用した業務効率化に取り組んでいる。RPAの処理を高速化し、効率化する業務範囲をさらに広げるためCoreとRPAを組み合わせる概念実証を行った。

今回試行対象となるのは勤務入力チェック業務だ。この業務では、複雑なデータ加工やメール送付処理が含まれており、BizRobo!とデータ加工処理を高速で行うCoreの導入により処理速度の改善、及び開発生産性、自動化処理の管理のしやすさを検証した。

課題 1　1000件超データの処理速度低下

勤務入力チェック業務では、1000名を超える従業員の入力内容を確認する。ロボット化して自動処理は可能だが、1件ずつ画面操作によって内容の確認を繰り返すため、処理に多くの時間がかかっていた。

課題 2　ロボットのメンテナンス性

BizRobo!でのロボット作成はGUIで簡単なため、高速開発及び内製化の実現が可能。一方、複雑なデータ加工処理は設定が煩雑となるため、処理内容がブラックボックス化し、メンテナンス性が低下する恐れがあった。

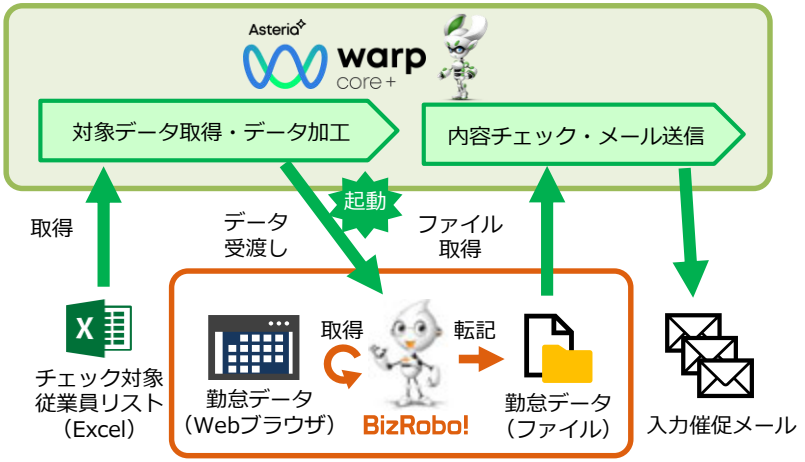
課題 3　複数ツール導入による連携性低下

複数ツールの導入ではツールごとに処理を分割するため、ツール間の連携性低下による新たな手間の発生や処理の管理が複雑化することが懸念された。

効果

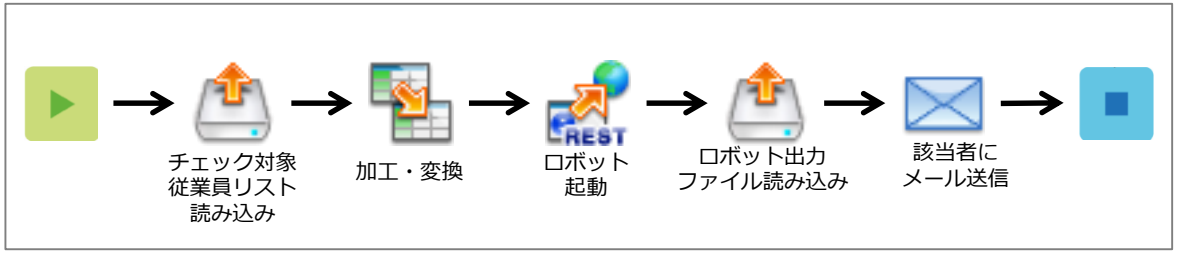
- **処理時間を90%以上短縮**
  ロボットでは時間のかかるデータ加工やチェックをCoreに置き換え一括処理することで、処理時間を大幅短縮。加工したデータをAPI経由でBizRobo!に受け渡し、シームレスに連携。
- **データ加工処理のメンテナンス性向上**
  Coreのマッピング画面では、全項目のデータ加工処理を1画面で設定可能。データ加工処理における開発生産性、メンテナンス性を向上。
- **自動化処理を一元管理**
  データ加工、ロボット起動、メール送信などの処理をCoreから処理することで一元管理。
- **API対応システムとの連携性強化**
  RPAでは処理時間が長く接続できなかった連携先でも、API連携が可能な場合はCoreを利用することで高速処理。自動化業務範囲をさらに拡張。

連携概要



Asteria warp core

「勤務入力チェック管理」では例えばこんな処理をしています。



お客様から一言

ASTERIA Warp Core のココがGood!

ソリューション事業局
システム事業部
(左から) 出縄様 藤鬼様 渡部様

RPAツールは画面操作をそのまま自動化できるので強力なツールではありますが、複雑なデータ加工処理では処理時間の長時間化や設定の複雑化が問題になることがあります。Coreと組み合わせることでその問題を解決でき、効率化できる業務の幅が広がることがわかりました。
学習コストも低く、部署内でRPA担当とCore担当で分担しチームを組んで、柔軟に調整しながら開発できることもメリットのひとつです。